☆平成31年度四国大学サッカートーナメント2回戦☆　　2019年6月16日

聖カタリナ大学　3－1　愛媛大学

【主将コメント】
聖カタリナ大学:大塚拓海
　僕たちの目標であったトーナメントベスト4を達成できてうれしいのと、僕ら2部で1部のチームに勝てたことで僕たちのチームの経験値が上がったと思う。
愛媛大学:住田尚規
　相手がロングボールを徹底的に入れてくる戦術になかなか対応ができずに、相手の流れでゲームが進んでしまったことが敗因だったかなと思います。
【Personal of the match】
聖カタリナ大学:22番　吉田海輝(ロングスローが脅威的だった。)
愛媛大学:28番　住田尚規(キャプテンとして落ち着いてリーダーシップをとって周りに指示していたから。)

松山大学　10－0　徳島文理大学

【主将コメント】
松山大学:
徳島文理大学:浜渦祐希
　相手は四国1位ということもあって厳しい状況だったけど、自分たちのやりたいことは徹底してできたので悔いはない。
【Personal of the match】
松山大学:9番　石井隆之介(球際が強かったから。)
徳島文理大学:

高松大学　0–1　四国学院大学

【主将コメント】
高松大学:山﨑健太
　サイドの選手が攻撃に対して守備ができなかった反面、四国学院は出来ていた。
四国学院大学:
　チーム上はよくなかったが、トーナメント戦で勝つことができてよかった。
【Personal of the match】
高松大学:4番　小方和斗(カバーリングがよかった。)
四国学院大学:8番　安永耕太(拮抗した中で決め切り、ゲームメイクしていたから)

高知大学　1–0　徳島大学

【主将コメント】
高知大学:川口陽良
　初戦勝てたので良かった。次からの試合に向けてしっかり準備していきたい。
徳島大学:亀高周馬
　終始相手のリズムで試合を運ばれて悔しかった。
【Personal of the match】
高知大学:16番　渡邊大生(視野が広くてボールの配給が上手だった。)
徳島大学:10番　亀高周馬(惜しいシュートを何本も打っていて脅威だった。)

JUFA Shikoku